

2023/04/17

山梨県立大学看護実践開発研究センター

令和5年度 認定看護師教育課程【感染管理分野 B 課程】開校式

式 辞

新入生の皆さん、山梨県立大学の「感染管理 認定看護師教育課程【B 課程】へのご入学、誠におめでとうございます。本日、ここに高い志を抱く皆さんをお迎えできましたことを、教職員一同、心より歓迎し、お祝い申し上げます。併せてこの三年余りにわたる新型コロナウイルスパンデミックの中、医療看護現場の最前線にたち、日夜ご尽力をされてきたことに対し、心から敬意を表する次第です。

また、ご家族・ご親族の皆様、そして職場の皆様など関係の方々にも心よりお慶びを申し上げます。

ご来賓の皆様におかれましては、これまでの本学認定看護師教育課程へのご理解とご支援に対して深く敬意を表するところであります。本日は、公務ご多用の中、山梨県知事代理 山梨県感染症対策センター・感染症対策統轄官 なるしまはるひと 成島春仁様のご来駕を賜り、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。また、山梨県行政の関係部署、山梨県看護協会、本学看護学部同窓会の各代表の皆様のご臨席をいただき、心よりお礼申し上げます。次第です。

山梨県立大学看護実践開発研究センターは、地域の保健・医療・福祉分野における看護実践の質的向上を目的とした専門職の育成を理念に掲げ、平成22年に開設されました。

認定看護師教育課程は、当センターの主軸となる事業であり、現在開講を継続している「認知症看護教育課程」と、既に閉講した「緩和ケア教育課程」は共に9期生を修了させ、総計400名以上の認定看護師を輩出しているところであります。

このような実績を持つ本学の認定看護師教育課程に、この度「特定行為を組み入れた感染管理認定看護師教育課程」が発足できますことは、我が国の看護実践技術の進歩を

促すことのみならず、当センターの地域貢献機能の強化といった観点からも極めて喜ばしいことであります。

開設にあたりましては、山梨県より助成金制度の設置や施設設備改修など多大なご支援をいただき、専任教員の確保や特定行為研修の受け入れといった面においては、各医療機関にも快くご協力をいただくことができました。また山梨県看護協会や看護学部同窓会からも情報提供など多くのご支援をいただきました。この場をお借りして関係各機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、「人類の歴史は感染症との闘いの歴史でもある」と言っても過言ではありません。天然痘、ペスト、コレラ、スペイン風邪など、人類は古代からそれらのパンデミックと闘い、克服してきました。しかしそのつと甚大な被害をこうむってきたのです。日本でも7世紀に流行した天然痘により、当時の人口400万人のうち、100万人が亡くなったと推定されています。

時代は移り、ここ3年余りにわたり猛威をふるってきた新型コロナウイルス SARS-CoV2 も、決して予断は許されないとはいえ、沈静化への道筋が見えてきました。ここで重要なことは、現代においては医療技術の飛躍的な進歩に加え、遺伝子組み換え技術など先端研究に基づいたワクチンや抗ウイルス薬が次々と開発・実用化されていること、さらには感染管理や公衆衛生に係る看護技術の革新などがコロナ禍沈静化への大きな要因となっていることであります。

自然破壊により人と動物との接触機会が日々増加していく現代においては、新興ウイルスによるパンデミックの勃発が繰り返されることは必至と言われております。また、MRSA やフルオロキノロン耐性大腸菌に代表される多剤耐性細菌の蔓延は、病原性ウイルス以上の被害を招くことも危惧されています。

こういった中、感染の予防対策や継続的な管理、また再発予防における発生状況のサーベイランスなどについて高度な知識と技術を有する専門人材の必要性はますます高まっているといえます。さらに今後は、医療現場において医師をサポートするとともにチーム医療のキーパーソンとして患者さんに適切で安全な看護医療を提供できる能力も必要となってきます。

新入生の皆さんは、看護師として医療現場における高いスキルをお持ちです。さらにその専門性を高め、医療看護を「極める」ことを目指し、この場にたたれておられます。

そのための学びの本質は、感染管理の現場における高度な知識と実践力を養うことに加え、今の看護分野、またそれをとりまく社会の中で、課題や問題を的確に抽出することができ、それを解決できる普遍的な力を育てていくことにあると考えます。

問題解決力を養う上で重要なことは、自らの考えや学びの成果を表に出し、仲間や指導者からの批判、評価を仰ぎ、さらには意見交換、議論を行うというプロセスの繰り返しの中で、真理を追究していくことにあります。価値観を異にする相手からの意見は、ともすれば辛辣なものに思えるかもしれませんが。しかし逆に、自分では思いもよらない、多様で斬新なものの方があることに気づくことになるでしょう。自らの学びの成果について、再検証と意見交換を繰り返した上で答えを出していく。そこにこそ真理が見いだされ、新たな価値が創造できるのだと考えます。

1年間に及ぶ密度の濃い学習過程が今日から始まります。健康に充分留意され、自らの目標を達成していただきたいと思います。ここで皆さんが学び得た実践知や問題解決力は、患者さんのみならず、そのご家族をはじめ、医師、看護師の皆様の大きな支えとなり、今後の指針となることでしょう。課程修了後も、大学としてできる限り皆さんの学びを支援する所存です。

結びになりますが、本教育課程での学びにより、皆さんの高い志が成就されることを、心からご祈念申し上げ、私の式辞と致します。本日は誠におめでとうございます。

令和5年4月17日

山梨県立大学理事長・学長 早川正幸